

第7回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月16日（水）

9時00分から9時15分まで

場所 県庁3F 第一応接室

災害対策本部総務班

9時00分開会

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。
(資料を基に説明)
- 今後の会議について報告。
次回の本部員会議は、明日（10/17（木））9時を予定。

【各本部員等】

- 各部局及び関係機関の対応状況等について報告。
 - ・ 政策地域部長
被災市町村に対し、人的支援の要請の有無を確認中。
このほか、財政的支援として、被災市町村の資金繰りを円滑にするため、普通交付税の繰り上げ交付に向けて総務省と調整中。
 - ・ 環境生活部
水道施設の被害状況について、他自治体等からの応援給水がはじまっている。
 - ・ 保健福祉部長
宮古市と久慈市でボランティアセンターが開設。山田町は明日設置予定。田野畑村等は調整中。
被害の少なかった内陸部の社協で支援する予定であるが、県内向けボランティア募集広報の実施を検討中。
 - ・ 商工労働観光部長
被害状況について、資料に記載のとおり。昨日まで市町村名のための記載であったが、件数が判明している分を追記して整理。
 - ・ 農林水産部長
農業分野については、農地、農業用施設の被害のほか、農地海岸保全施設の被害が判明。現時点で判明している被害額は1億6千9百万円余。
林業分野については、治山施設で5か所、山腹崩壊で22カ所。現時点で判明している被害額は2億4千4百万円余。

水産関係については、漁場施設でケーソン滑動が判明。東日本大震災津波で被害、その後の高潮、台風被害を受けてようやく復旧したところであるが、また被災したもの。規模として大きくなる見通しであるが、鋭意調査を進める。現時点で判明している被害額は3百万円余であるが、水産関係はまだ調査が進んでいないため、被害額は拡大する見通し。

・ 県土整備部長

釜石市内の4地区の区画整理区域で土砂の流入等の被害。

港湾関係でケーソン1函の滑動被害が新たに判明。

公共土木施設の6時現在の被害状況であるが、資料のとおり、調査率40%で844箇所、175億4千4百万円。

・ 教育長

宮古市の2つの給食センターが、断水しているため稼働していない。断水復旧後に稼働開始予定。

・ 企業局長

滝発電所と松川発電所で、新たに道路の損壊と放水路での土砂の堆積被害が判明。現在対策中。

滝発電所と北ノ又水力発電所では昨日午後から運転を再開。

・ 県警本部長

台風被害に便乗した事件等は、今のところ取扱っていない。

・ 沿岸広域振興局長

釜石市の平田地区においては、昨日18時13分に道路が開通。

管内の市町村に、被災家屋調査の支援として、釜石市に対しては本日から、山田町に対しては明日から実施する予定。

・ 県北広域振興局長

罹災証明書の発行や被災家屋調査で市町村に対する支援が必要と想定。リエゾン職員を通じて、あらためて管内市町村に対して要望を確認する。

【盛岡地方气象台】

○ 今後の天候について

19日土曜日は雨の予報。警報が出る可能性は中程度。

【総務部長】

○ 対応方針を報告。

(資料を基に説明)

【達増本部長（知事）】

本部員として、陸上自衛隊、盛岡地方気象台の皆さんにも御参加いただき、感謝申し上げます。

停電は解消されつつあるが、断水がまだ続いている。交通アクセスの確保なども含め、県民生活に影響が大きいところを中心にしっかりと対応していきましょう。

県庁・被災市町村には、国、自衛隊、そして通信事業者などの数多くのリエゾンに来ていただいているので、しっかりと連携して対応をお願いしてまいりましょう。

被災者の命、安全と健康を守ることを第一に、被災者そして被災市町村のニーズに沿って、関係機関と連携を図りながら、復旧・復興に向けた取組を進めて参りましょう。

9時15分閉会

※ 第8回本部員会議は10/17（木）9：00を予定